

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月20日

計画の名称	高知県における盛土規制法に基づく災害防止の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和08年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	高知県												
計画の目標	本事業は、盛土規制法に規定する基本方針に基づいて、盛土等に伴う災害の発生のおそれがある区域及び既存の危険な盛土を把握するための基礎調査を実施し、災害の防止のため必要な規制を行うことにより、県民の生命及び財産の保護を図ることを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	145	A	145	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和5年	中間目標値	最終目標値 令和8年
1	盛土規制法に基づく区域の指定を完了し、HPに公表することで地域住民の関心を高める。 基礎調査の結果から、盛土等による被害が予測される区域を規制区域として指定し、HPに掲載する。 規制区域の指定が完了した数/盛土規制法に基づく基礎調査結果による該当数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	高知県	直接	高知県	-	-	都市防災総合推進事業	盛土による災害防止のための調査	高知県						145	-	
											小計						145		
											合計						145		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面(防災・安全)

計画の名称	高知県における盛土規制法に基づく災害防止の推進(防災・安全)		
計画の期間	令和5年度 ~ 令和8年度 (4年間)	交付対象	高知県



事前評価チェックシート

計画の名称： 高知県における盛土規制法に基づく災害防止の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の政策課題を踏まえて、整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 計画の具体性 1) 災害に強いまちづくりに向けた機運がある。	○
I. 目標の妥当性 計画の具体性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について、地域住民との合意形成が図られている。	○